

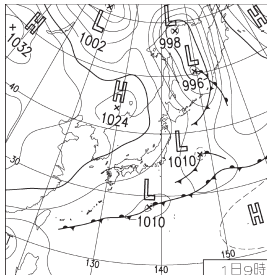
# 日々の天気図

— No. 58

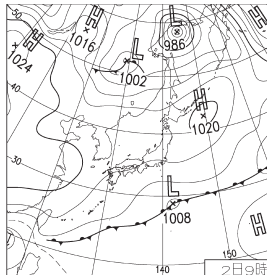
## 2006年11月

・竜巻発生相次ぐ。  
7日、北海道佐呂間町(推定強度F3は国内過去最強)、日高町。  
9日、北海道奥尻島。  
11日、山口県山口市。  
18日、沖縄県慶徳市。  
22日、沖縄県東村。  
26日、高知県土佐清水市。  
など。

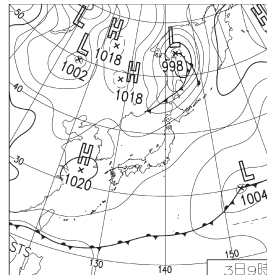
(気象庁予報部予報課)



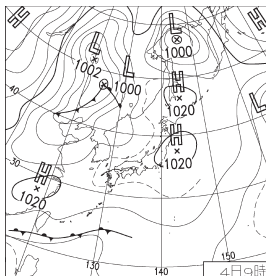
**1日(水)北海道11月中頃の気温**  
寒冷前線が通過。北海道は日中になっても気温低く、空知支庁幌加内町朱鞠内は最高気温3.1°C。南の前線に近い沖縄は雨。西～東日本は概ね晴れ。北海道旭川市、網走市で初雪。



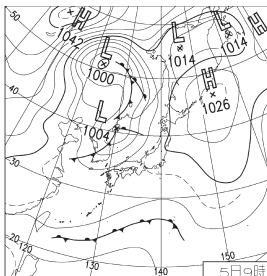
**2日(木)東北地方で初氷**  
南海上に前線が停滞。東・西日本の一部、沖縄で曇り。他は概ね晴れ。北海道では、朝の最低気温が11月中旬～下旬の寒さ。弟子屈町川湯で-7.8°C。盛岡市、根室市などで初氷。



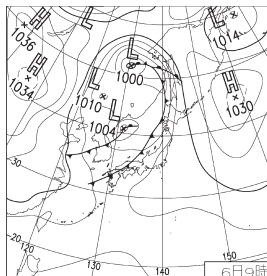
**3日(金)気温11月中旬～下旬並み**  
日本付近は高気圧に覆われ全国的に概ね晴れて暖かな一日。北海道網走市の最高気温、平年より6°C高い16.2°C。北日本を午後には寒冷前線が通過し曇りで一時的雨の所も。



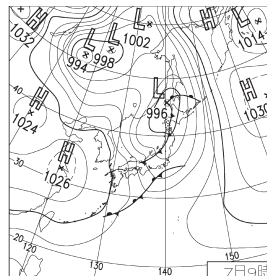
**4日(土)伊豆諸島付近気圧の谷**  
三陸沖の高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れ。紀伊半島から伊豆諸島にかけて大気の状態が不安定で、所々で雷雨。9時に東京都御蔵島村付近で約80 mm/1hの記録的短時間大雨。



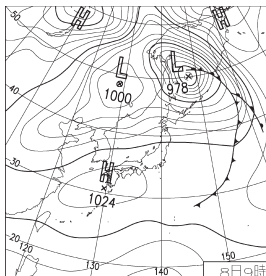
**5日(日)暖かな晩秋**  
北海道は石狩支庁を中心に雨。他は曇り。一部で晴れ間。その他の地方は概ね晴れたが、関東や近畿は一部で午前中曇り、近畿南部では雨も。全国的に暖かく9月下旬並みの所も。



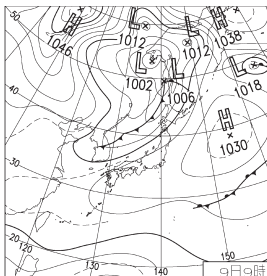
**6日(月)寒冷前線接近**  
日本海沿岸に寒冷前線接近。南西諸島で晴れの他は全国的に曇りや雨で、北陸、中国、紀伊半島は雷雨。南風が入り、北日本は最高気温が平年より5～10°C高く暖か。



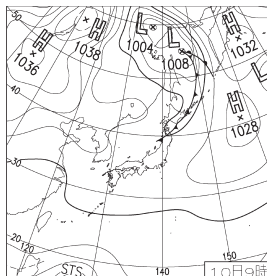
**7日(火)北海道で竜巻発生**  
寒冷前線が北・東日本を通過。北海道～本州の日本海側では大荒れの天気。北海道浦河町で日最大瞬間風速39.9 m/s。網走支庁佐呂間町で竜巻発生し、死者9名、負傷者31名。



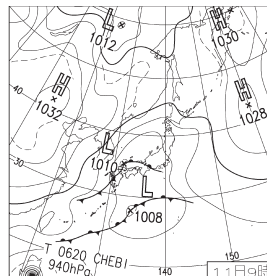
**8日(水)東北の山々初冠雪**  
発達した低気圧がオホーツク海を北東進。北日本は日本海側を中心に曇りや所々雨。高気圧に覆われた東日本から西は晴れて冷え込む。長野市等で初霜、初氷。奈良市でも初霜。



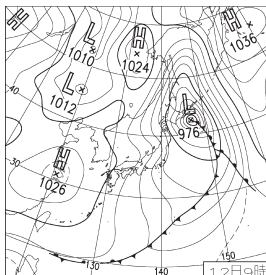
**9日(木)台風第20号発生**  
日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れるが、北海道は寒冷前線通過に伴い強風と短時間強雨。奥尻島で昼頃、竜巻。檜山支庁江差町で最大瞬間風速25.1 m/s、直径10 mmのひょう。



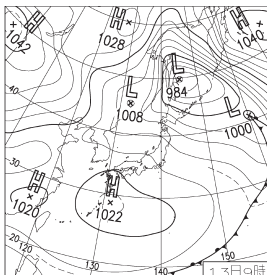
**10日(金)前線日本海側に影響**  
東北～九州の日本海側は雨だが日中は曇り。北海道も曇りや雨。その他の地方は日中概ね晴れ。全国的に暖かく、10月上旬～下旬並みの気温。台風第20号急速に発達し眼を形成。



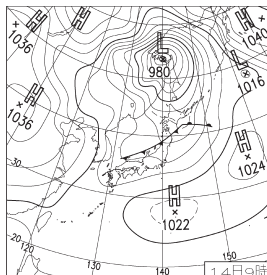
**11日(土)各地雷雨**  
日本海に寒気を伴った気圧の谷が接近。全国的に大気の状態が不安定で雨や雷雨。北海道や九州北部は暴風と高波。長崎県雲仙市雲仙岳で最大瞬間風速24.7 m/s。



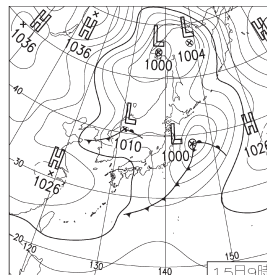
**12日(日)北日本は大荒れ**  
急激に発達した低気圧が北海道の東海上を北上。強い寒気が流入し、東北や甲信地方等で初雪や初冠雪。檜山支庁江差町で日最大瞬間風速31.7 m/s。東京地方で「木枯らし一号」。



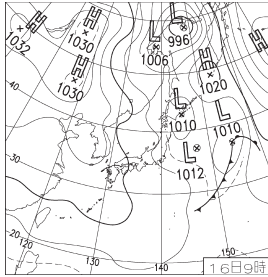
**13日(月)北は雨や雪南は晴れ**  
オホーツク海を発達した低気圧が北上。北海道は西部中心に曇りや所々雨や雪。東北から北陸も曇りや所々雨。関東から西は高気圧に覆われ概ね晴れ。台風第20号熱帯低気圧に。



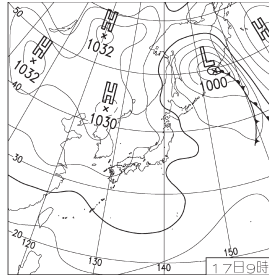
**14日(火)日本付近深い気圧の谷**  
前線通過前、南西風の吹いた東北南部、関東甲信、東海の一部で晴れた他は概ね曇りや雨。晴れた地方では平年より4～5°C高い最高気温。東京都心で22.6°C、10月上旬並み。



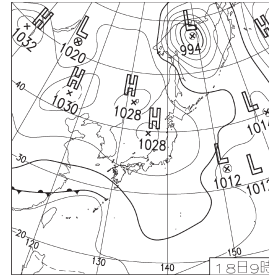
**15日(水)千島列島でM7.9**  
日本付近には次々に寒気流入。稚内市上空約5300 m付近で-37.5°C。北海道～山陰の日本海側で大気の状態が不安定。鳥根県隠岐の島町西郷7 mm、山形県酒田市10 mmのひょう。



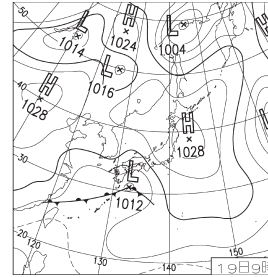
**16日(木) 三宅島坪田津波0.8 m**  
低気圧が北日本を通過、次第に冬型の気圧配置に。日本海側を中心に寒気が入り曇りの所が多く、北日本と北陸は雨や雪で雷を伴う所も。秋田市で10 mmのひょう。



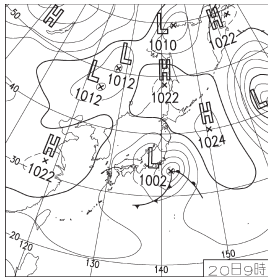
**17日(金) 弱い冬型の気圧配置**  
北陸から北の日本海側で雨や雪の他は概ね晴れ。気圧の谷の影響で東北南部や東日本は所々曇り、奄美・沖縄も曇りや雨。根室市で初雪、空知支庁幌加内町朱鞠内30 cmの日降雪。



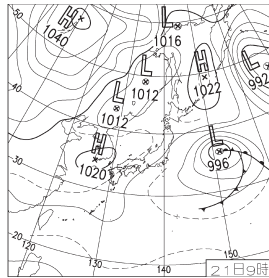
**18日(土) 南西諸島で大雨**  
日本付近は高気圧に覆われるが、東シナ海から低気圧が東進。南西諸島から九州、中国、四国へと雨の地域が北上。鹿児島県上屋久町小瀬田で69 mm/1 hの非常に激しい雨。



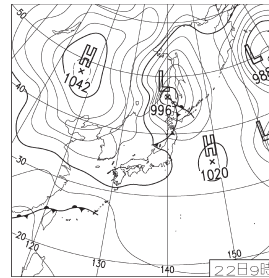
**19日(日) 関東で大雨**  
低気圧が南海上を東北東進。東北南部から東日本、西日本の広い範囲で雨。関東では大雨の所も。東京都三宅村坪田で翌朝にかひ157.5 mm/24 h。東北各県、新潟市、上越市初霜初水。



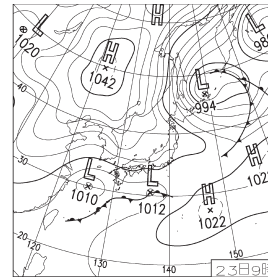
**20日(月) 東北で冷たい雨**  
北海道は、日中概ね晴れ。東北では1日雨。東・西日本では雨や曇り。先島諸島で積乱雲がくさび状の形に発達。沖縄県と那国町祖約で60 mm/1 hの非常に激しい雨。



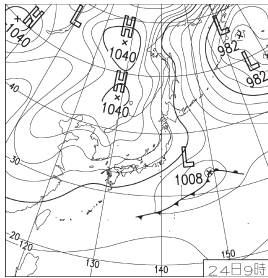
**21日(火) 東・西日本小春日和**  
東・西日本は西からの高気圧に覆われて概ね晴れ。東北北部や北海道西部は低気圧や深い気圧の谷が近づき弱い雨が続く。全国的に最高気温は平年より2~5℃高い。



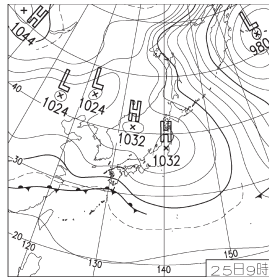
**22日(水) 北海道、南西諸島大荒れ**  
発達中の低気圧が北海道北部を、前線や低気圧が南西諸島を通過。北海道浦河町潮見町で最大瞬間風速37.8 m/s。鹿児島県与論島、沖縄県国頭村比地70 mm/1 h、非常に激しい雨。



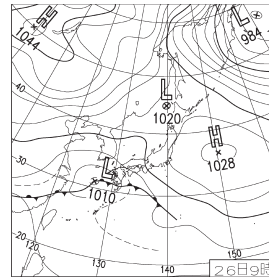
**23日(木) 北海道平地でも雪**  
北日本は冬型気圧配置、日本海側や北陸は雪や曇り。東北太平洋側は晴れ。南海上を低気圧や前線が東北東進。九州は雨、東日本太平洋側夜雨。空知支庁幌加内町朱鞠内35 cm/24 h。



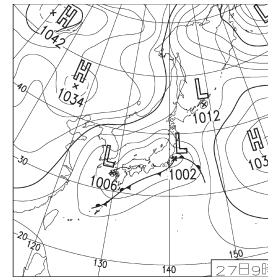
**24日(金) 北日本で冬型続く**  
北日本は日本海側を中心に雪や弱い雨。一方、低気圧が早朝、伊豆諸島南部を通り、東日本の南岸では明け方まで弱い雨。その後、東日本から西日本は晴れた。



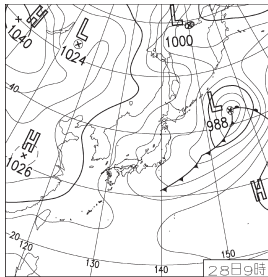
**25日(土) 北・東日本寒い朝**  
北日本～東日本では概ね晴れ。その他は曇り、一部で雨。北海道十勝支庁陸別で-9.7度。遅れていた季節の便りが関東・北陸から届き、宇都宮市、前橋市、福井市等で初氷初霜。



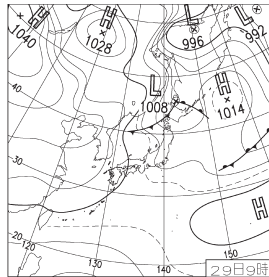
**26日(日) 高知県で記録的な大雨**  
西日本の前線に暖かく湿った空気が流入、太平洋側で激しい雷雨。高知県室戸市室戸岬149 mm/1 h。夜には東日本に雨雲移動、三重県でも100 mm/1 h超の雨。台風第21号発生。



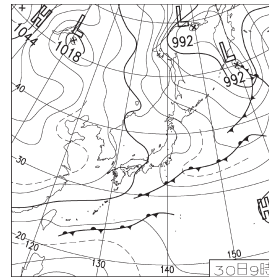
**27日(月) 全国的に曇りや雨**  
発達中の低気圧が関東の東海上を北上。三重県紀北町紀伊長島では59 mm/1 hの非常に激しい雨。各地暖かい朝。宮崎県都城市菖蒲原町の最低気温16.5℃、平年より12.1℃高い。



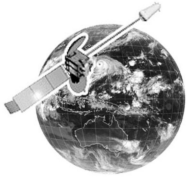
**28日(火) 前日に続き暖かい朝**  
弱い冬型の気圧配置。東海～中国、四国地方の所々で午前中一時的に晴れた他は、ほぼ全国的に曇りや雨。北海道を除き、各地10月中～下旬の最低気温。



**29日(水) 北日本日本海側しぐれ**  
稚内市上空約5200 m付近に-37℃の寒気。北海道を低気圧が通過、その後、北日本中心に冬型の気圧配置。北陸以北の日本海側や北海道で雨や雪。南西諸島で雨の他は概ね晴れ。

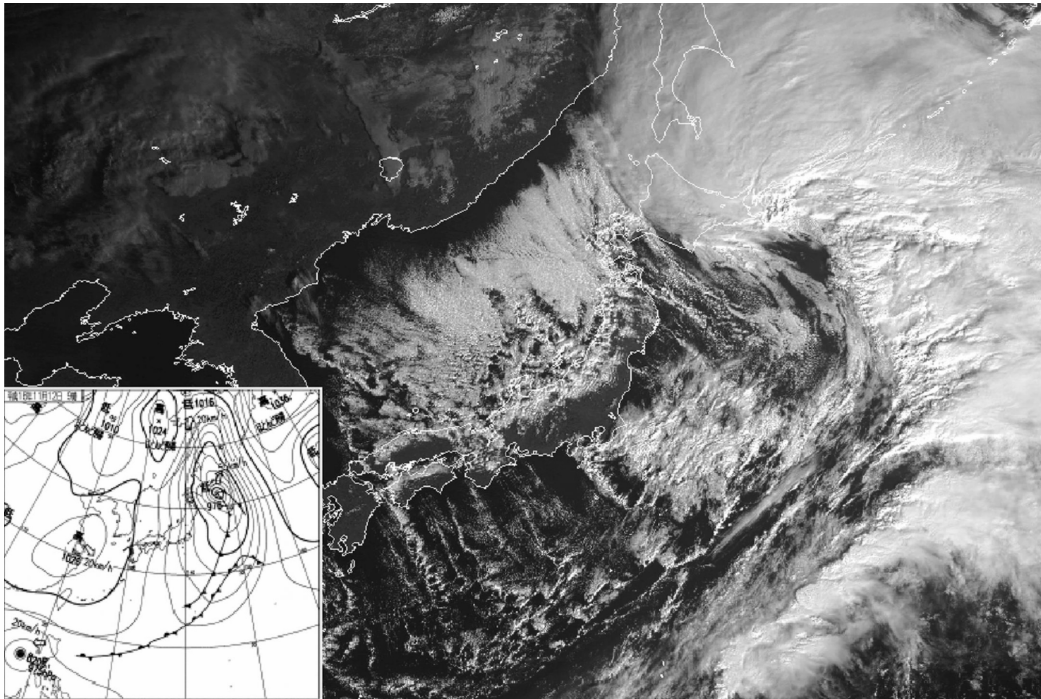


**30日(木) 北日本中心の冬型続く**  
北海道～本州の日本海側は秋田以北で雪、その他は雨や曇り。太平洋側は、午前中一部で雨の他は概ね晴れや曇り。岩手県宮古市で初雪、宗谷支庁枝幸町歌登で42 cm/24 hの降雪。



## 今月のひまわり画像—2006年11月

### 木枯らし1号



可視画像（2006年11月12日9時）と同時刻の地上（速報）天気図

木枯らし1号は秋から初冬にかけて、日本付近を低気圧が通ったあと、冬型の気圧配置になって初めて吹く強い北寄りの風のことである。

11月12日、日本付近では前線を伴った低気圧が関東地方の東海上を発達しながら北海道の東に達し、一時的に西高東低の強い冬型の気圧配置となった。このため、東日本を中心に北西の季節風が吹き東京で最大瞬間風速18.9mを観測し「木枯らし1号」となった。

写真は12日9時の可視画像である。北海道の東には発達した低気圧の中心を示唆する雲域が見られ、そこから南側に伸びる雲バンドは低気圧の寒冷前線に沿う

ものである。また、日本海中部から北部にかけて強い寒気移流を示唆する帯状の対流雲が見られる。

同日、この強い冬型の気圧配置により札幌市、青森市、若松（福島県）、松本（長野県）などで初雪、大平山（秋田県）、赤城山（群馬県）、金北山（新潟県）東方連山（長野県）、扇ノ山（鳥取県）などで初冠雪を観測した。また、翌日13日は各地で今季一番の冷え込みとなり、朝の最低気温が東京の八王子で2.3℃（平年より4.1℃低い）、東京都心でも9.2℃まで下がり、今季初めて10℃を下回った。

（気象衛星センター）